

- ◇ 教育基本法
- ◇ 学習指導要領
- ◇ 東京都教育委員会教育目標
- ◇ 大田区教育委員会教育目標
- ◇ おおた教育ビジョン

- 《学校の教育目標》
1. 健康で明るい子
 2. よく考え行動する子
 3. 人を愛するやさしい子
 4. 終わりまで仕事をやりぬく子

- ◇ 学校・地域の実態
- ◇ 保護者の期待や願い
- ◇ 地域の期待や願い
- ◇ 期待される児童像

《学校経営方針》 学力向上に向けて

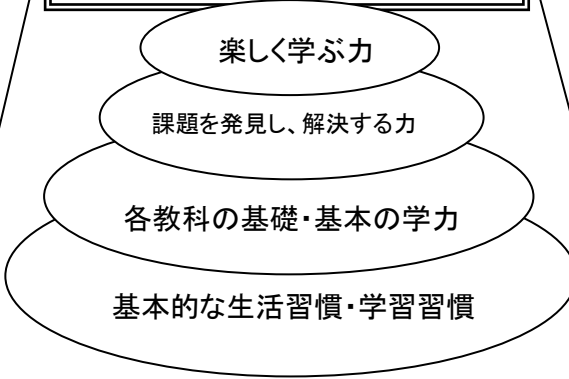
- 授業の充実
 - ・めあてを明確にした授業
 - ・対話を軸とした授業展開
 - ・毎時間の振り返りの実施
 - ・教科横断的な授業の展開
 - ・校内研究による授業改善
 - ・学習効果測定を活用
 - ・習熟度別少人数指導
 - ・ICTの活用
 - ・都道府県検定の実施
 - ・外国語活動の充実
 - ・「都南の学び合い」の徹底
 - ・授業公開による相互研鑽
- 読書活動の充実
 - ・図書室の充実と活用
 - ・朝読書の設定

《各教科の指導の重点》
 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させるとともに、それらを活用する学習活動を展開し、思考力、判断力、表現力を育てる。

《総合的な学習の時間の指導の重点》
 主体的・問題解決的な活動を通して、自ら課題をもち解決しようとする力を育てる。

《進路指導の重点》
 自分の将来に対する「希望と夢」を抱かせるとともに、生涯を通して学び続ける態度と能力を育てる。

未来に向けて
 共に学ぼう
 都南の子



《道徳教育の指導の重点》
 感性・情操を育む活動や体験的な活動を通して、豊かな心を持ち、たくましく生きる人間を育てる。

《特別活動の指導の重点》
 自主的・自発的な実践活動を通して、社会性と自主性を育む。

《生活指導の重点》
 基本的な生活習慣を確実に身につけさせるとともに、相手を思いやる心、判断力・忍耐力・責任感を育む。

本校の授業改善に向けた取り組み

教育課程編成上の工夫	学習指導の工夫・改善	評価・評定の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	校内における研究や研修の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・算数科では、習熟度別少人数指導を推進する。 ・全学年算数ステップ学習シートを活用し、児童の学習内容の定着度を把握する。繰り返しの指導が必要な児童には、補習指導を実施する。(放課後補習を毎週水曜日、土曜補習を年6回) ・区漢字検定を生かし、再チャレンジの機会を設け、言語理解力の定着を図る。 ・日々の積み重ねによる基礎基本の定着と確かな学力の育成のため、毎週水曜日と金曜日に国語・算数の朝学習を計画的に行い、基礎学力の定着を図る。 ・本校独自の都道府県検定を実施し、国土の基本的な知識・理解に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の学習意欲を高めるとともに、生活に生かせる授業の創造に努める。 ・国語科の研究を通して「伝え合い、学び合う児童」の育成を図る。 ・算数的活動を中心に、体験的活動を通して知識が生活に生きるよう身につけさせる。 ・地域の教材や人材を生かした学習と体験的な学習を効果的に位置つけた授業を実践する。 ・教材や資料を整備・充実・開発するとともに、学習指導の工夫を推進する。 ・各教科と総合的な学習の時間を関連付け、授業を展開する。 ・ICTを効果的に活用した授業を実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科とも年間指導計画と評価規準を見直し、指導と評価の一体化を推進する。 ・新学習指導要領を吟味し、各教科、新学習指導要領に沿った評価に見直す。 ・昨年度末に行った授業改善推進プランの検証結果(成果と課題)や今年度4～6年生に実施した学習効果測定の結果・分析を、今年度の授業改善推進プラン作成に生かす。 ・評価・評定について保護者に説明する機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAによる全学級での始業前の読み聞かせ活動を通じて、本に対する興味・関心を高める。 ・年間10回の学習サポート教室の実践を通して、基礎基本の定着を図る。 ・PTAとの連携による都南サマーわくわくスクールを実施し教職員と保護者が協力して児童に夏季休業中の体験活動を行う。 ・地域教育連絡協議会による外部評価を次年度の教育課程編成に反映していく。 ・学校支援地域本部を活用し、ゲストティーチャーとともに、より質の高い授業づくりを進める。 ・学習効果測定の結果をもとに作成した学習カルテを活用した個人面談を実施し、家庭と連携して学力向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全教職員の協力のもと、初任者・2・3年次校内研修やOJTを実施し、教員としての指導力と専門性を高め資質の向上を図る。 ・校内研究を通して、児童の実態を踏まえた指導の手立てを検討し、全学年の研究授業を通して検証する。低、中、高学年分科会の提案をもとに協議し、よりよい指導のあり方を全教員で共有する。 ・OJTを推進し、教員の指導力向上を図る。 ・夏季休業中に、授業改善推進プランを作成しホームページに掲載する。